平成22年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

2項 児童福祉費 子育て支援総室(内線:7570)→子育て支援総室[子育て応援室]

1目 児童福祉総務費 (単位:千円)

							`	1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
事業名	本年度	前年度	比較	財	源	内	訳	備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	加州与
保育所乳児途中入所円 滑化事業	14, 970	7, 485	7, 485				14, 970	
トータルコスト	54, 424千円 (前年度 54, 520千円)〔正職員: 0.1人〕							
主な業務内容	関係機関との連絡・調整、補助金業務							
工程表の政策目標 (指標)	子育て中の誰もが、保育所、幼稚園、地域子育て支援センター、放課後児童 クラブ、ファミリーサポートセンター等の子育て支援拠点の支援を受け安心 して子育てができる。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

保育士が確保できず保育所への乳児の途中入所が困難となっているため、私立保育所において、途中入所する乳児担当の保育士を年度当初から配置する経費(現行1人→2人に拡充)について、市町村を通じ助成し、乳児の待機児解消を図る。

2 主な事業内容

私立保育所が、途中入所の乳児を担当する保育士を年度当初から配置する経費について、市町村を通じて助成する。

補助対象経費	途中入所乳児を担当する保育士を年度当初から3ヶ月配置する経費			
補 助 率	県 1/2 市町村 1/2			
	保育士1人あたり: $5,940$ 円 $\times 21$ 日 $\times 3$ ヶ月 $(4\sim 6$ 月 $) = 374,220$ 円			
	(1保育所あたり2人までを上限とする)			
補助基準額	・途中入所見込乳児が3人以上で保育士1人を配置する場合 @374,220円×40施設×1/2=7,485千円			
	【拡充】			
	・途中入所見込乳児が6人以上でさらに保育士1人を配置する場合			
	@374,220円×40施設×1/2=7,485千円			

3 これまでの取組状況、改善点

私立保育所に対し、乳児の受入が円滑に行われるよう乳児担当保育士1人を年度当初から配置する 経費を助成している。

しかし、子育てをしながら働く女性や、不況の影響により乳児を預けて働かざるを得ない、育休を早く切り上げざるを得ない保護者が増加し、保育所での乳児受入の需要が年々高まっているが、保育所では年度途中に保育士を確保できないため入所を断らざるを得ない等の状況が出てきている。

このため、乳児の待機児を解消するとともに、非常勤保育士の前年度からの継続雇用を可能とし、 保育士を安定確保するため、本事業の対象となる保育士数の拡充(1人→2人)を行う。